



府県名	海文化（伝統行事名）	伝統行事の内容
愛媛県	小部（おべ）の獅子舟・神輿舟（今治市）  今治市観光課 TEL：0898-36-1541	白玉神社、素鷲（すが）神社の祭礼で、神社周辺で神輿2基と獅子の練りを行い、漁船4隻（獅子舟2隻・神輿舟2隻）が海上で継獅子（二段・三段）を演ずる。  毎年5月第4日曜日に、白玉神社、素鷲神社境内から小部港までの往復と小部港にて開催される。
	尾形八幡秋祭り（今治市）  今治市観光課 TEL：0898-36-1541	尾形八幡神社の祭礼で、引き船、ダンジリ・獅子を乗せた船、櫓、神輿御座敷船など計12隻が幟旗で飾り、海上に一行で並び海上を進む。  毎年10月（第2日曜日と体育の日の2日間）に宮窪港沖の海上（今治市宮窪町宮窪）で行われる。

### 安芸灘

府県名	海文化（伝統行事名）	伝統行事の内容
広島県	柏島の管弦祭(柏島神社大祭)(呉市安浦町)  連絡先：安浦漁業協同組合 TEL0823-84-2003  URL: <a href="http://www.hiroshimabunka.jp/modules/news/article.php?storyid=61">http://www.hiroshimabunka.jp/modules/news/article.php?storyid=61</a>	呉市安浦町の無人島柏島にある柏島神社に伝わる神事。毎年7月上旬に豊漁と海上交通の安全を祈願して開催される。尾道吉和や地元安浦などの漁民が漕ぐ引き舟が御神体を載せた御座船を先導し、周囲4キロメートルの柏島を1周する。後方には大漁旗を掲げた漁船が続き、勇壮な海上絵巻を演出する。この祭りは宮島、大三島と並ぶ瀬戸内海の三大管弦祭として知られ、尾道、竹原、豊島、蒲刈島などから多数の漁船が集まることでも有名である。
愛媛県	興居島（ごごしま）の船踊り（松山市）  ※愛媛県指定無形民俗文化財  問合せ先： 松山市文化財課 089-948-6603	船越和気比売神社の秋の祭礼に神輿の海上渡御に供奉して演じられる芸能（風流）である。この踊りの起源は明白ではないが、島の伝承によると、むかし内海にその威をふるった伊予水軍の勇士が、遠く転戦して凱旋するごとに、戦いの模様を留守の家族に演じてみせたのが、氏神の祭礼行事となり、伝承されたという。  10月6日に、伝馬船をもやって舞台を設け、歌舞伎や新作の舞踊などを演じる。演目は、「伊予水軍」「大阪城夏の陣」「先代萩」「太功記」「曾我兄弟」などで、大太鼓と拍子木に合わせた立ち回りがある。同時に、船のヘサキではボンデン踊りといって、氏子の中泊、軒島、由良、門田の4集落が奉納することになっていた。権伝馬は、瀬戸内海地域に広く祭

府県名	海文化（伝統行事名）	伝統行事の内容
愛媛県	URL: <a href="https://www.city.matsuyama.ehime.jp/kanko/kankoguide/rekishibunka/bunkazai/ken/gogosimano_funaodori.htm">https://www.city.matsuyama.ehime.jp/kanko/kankoguide/rekishibunka/bunkazai/ken/gogosimano_funaodori.htm</a>	礼行事として行われるが、豪快勇壮な船踊りは、独自の地方芸能として極めて珍しい存在である。
	北条鹿島まつり（松山市）  北条商工会 TEL：089-993-0567 E-mail： hojo-shokokai@bell.ocn.ne.jp	北条の春の恒例の祭典「北条鹿島まつり」は、愛媛県指定無形民俗文化財の指定を受けている伝統の「権練踊り」など、勇壮な海の男たちによる海上絵巻が鹿島周辺で繰り広げられるほか、年に一度の「大注連縄の張替え」も鹿島海上の伊予二見（玉理・寒戸）で行われる。また、さまざまなイベントも盛りだくさんである。 鹿島まつりは、毎年5月3日、4日に行われ、北条沖にある夫婦岩の「大注連縄の張替え」は、海上安全・五穀豊穰・大漁を祈願し翌日行われる。
		

## 広島湾

府県名	海文化（伝統行事名）	伝統行事の内容
広島県	邇保姫（にほひめ）神社の獅子舞(広島市)  ※広島市指定重要無形文化財  邇保姫神社獅子舞保存会	この獅子舞は、広島湾内に浮かぶ海村であった仁保島の総鎮守（邇保姫神社）と、仁保島の主要な産業であった漁業に携わっていた氏子に伝わった祭礼行事である。近世以降の干拓により陸続きとなった後も途絶えることなく、瀬戸内海沿岸の伝統行事として現在に継承されている。 伝承によると、今から約400年前に仁保島一帯に悪病がはびこり、村人は大いに苦しんだ。色々手立てを尽くしたが、悪病は止まなかった。万策尽きた村人は、想像上の霊物である「獅子が悪霊を食い払い救ってくれる」との古くからの言い伝えに従って、獅子を神社に奉納し、これを持ち出して家々の邪気を祓ったところ、悪病はたちどころに止んだという。以来、悪霊の取り払い、心身の清めに「獅子の祓い」としての獅子舞が行われる。なお、社蔵の獅子頭の一つに「延享四（1747年）卯天二月吉日」の墨書銘がある。 氏子の家々を一軒一軒回る「みそぎ（はらえ）」行事は、邇保姫神社の例祭日（10月29日の直前の日曜日）の前、約10日間、神輿渡御の道行きの先導は、例祭日に行われる。
		
	阿多田神社秋季例大祭（大竹市阿多田）	阿多田島で毎年10月13日に行われる「豊漁」を祈願するお祭り。前夜祭の12日夜には、阿多田神社にて「お湯立ての儀式」が行われ、大釜の中の「御